

大学図書館の機能と研究活動

平成24年度全学共通科目
「情報探索入門」第1回(2012年10月1日)

京都大学附属図書館研究開発室
北村 由美

1

本日の内容

- ▶ 大学での学習・研究に必要なこと
→ この科目で学ぶこと
- ▶ 大学図書館の役割

▶ 2

大学での学習・研究に必要なこと
→ この科目で学ぶこと

3

この科目の目的

- ▶ 「情報リテラシー」＝「膨大な情報群から効率よく検索して、目的の情報にたどりつくための力」の向上
- ▶ レポート・論文の執筆に必要な技能とルールの習得

▶ 4

皆さんの今の状態？

大学で、専門的な知識を身につけたい！



面白いテーマを見つけて、**独創的**な研究をしたい！

研究結果をレポートや論文で発表したい！

▶ 5

「独創的」といいますが・・・

- ▶ 「独創的」な研究論文やレポートが、100%新しい知識であることはない。
- ▶ **先行研究や社会・歴史などの文脈の中に位置づけることで、はじめて研究結果や、ものの方における「独創性」を説明できる。**

▶ 6

そこで必要となるのが

- ▶ 専門分野に関連する知識の体系的な理解
- ▶ 図書館＝知識が体系的に分類され提示されている場の活用
- ▶ 学問の世界のルールにのっとった引用方法や論文執筆手法

▶ 7

残念ながら...

- ▶ 知識体系を作り、維持しているのは、自分以外の他人
- ▶ 他人が作った知識体系における分類や、キーワードと自分が考える分類やキーワードは必ずしも一致しない
- ▶ 図書館内では、知識体系が複層的に存在
 - ▶ 図書館内の分類・目録
 - ▶ 各DBにおける分類・キーワード

▶ 8

例：Vietnam War のキーワード検索

検索結果: 453件、ただしベトナム戦争に関係がない文献も

件名はVietnamese Conflict, 1961-1975

Vietnam Conflictという件名 (図書館が与えたキーワード)

件名検索

注意！必ずしもすべての書誌に件名が与えられているわけではない

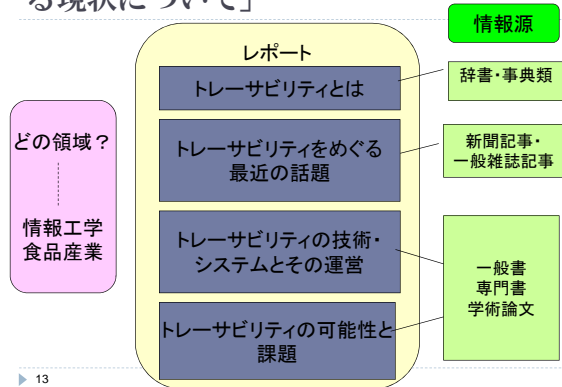
▶ 11

学習・研究のポイント

- ▶ さまざまな領域・トピックの中から、適切な領域・トピックを選択する
 - ▶ 「そもそもどのような領域があるか」を知っておく
- ▶ 領域・トピックにふさわしい情報源(＝根拠)を選択し、それに沿って自分の主張を組み立てる
 - ▶ 時事的な話題、ことば・概念の定義・用例、通説、最新の研究成果 など...

▶ 12

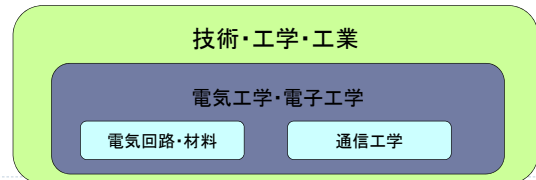
例：「食材のトレーサビリティをめぐる現状について」



▶ 13

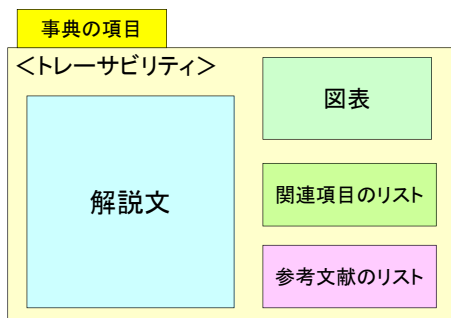
この科目で学ぶこと(1)：体系的な理解
分類と目録

- ▶ 「情報の整理や探索の基盤」としての分類
 - ▶ 例：「十進分類法」
- ▶ 分類に基づいた、学問領域の上下関係・類縁関係 → 書架・目録に反映



▶ 14

この科目で学ぶこと(2)：用語と文献へのアクセス
参考資料（辞書・事典類などのツール）の使い方



▶ 15

この科目で学ぶこと(3)：「検索力」として応用
さまざまな「検索」とその留意点

- テーマに応じたデータベースと検索対象（図書／雑誌／ネット情報 など...）の選択方法
- 検索語の精査と検索結果の評価
- 文献の入手方法

▶ 16

大学図書館の役割

17

図書館の種類の違いを認識すべし！

公共図書館



大学図書館



地域住民のための
情報源・サービス

大学での
教育・研究のための
情報源・サービス

大学図書館での情報源の特徴

- ▶ **学術書、専門書が中心**
 - ▶ 生活のための実用書、趣味の本は少ない
- ▶ **幅広い範囲の情報源を扱う**
 - ▶ 形態面、主題(テーマ)面、言語面
- ▶ **電子媒体・ネットワーク上の情報源が多い**
 - ▶ 通常のインターネット利用ではアクセスできない

★活用のカギ★

1. 京大内の図書館・室(さらには、他大学や国立国会図書館などの資料の特徴をつかみ、目的に応じて使い分けること！)
2. 図書と学術雑誌・学術論文の違いを認識すること！

▶ 19

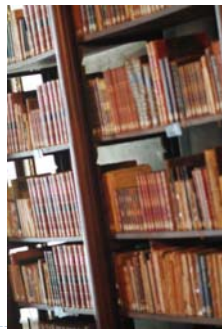
京大の図書館・室の特徴

- ▶ **附属図書館**(吉田中央):主に、全学の3・4回生がターゲット
- ▶ **人環・総人図書館**(吉田南):全学の1・2回生、および「人環」の院生・「総人」の学生がターゲット
- ▶ **各部署**(学部・研究科、研究所など)の**図書館・室**: 部署の学生・院生・研究者がターゲット
- ▶ 京大全体での図書館・室の数: 50以上

▶ 20

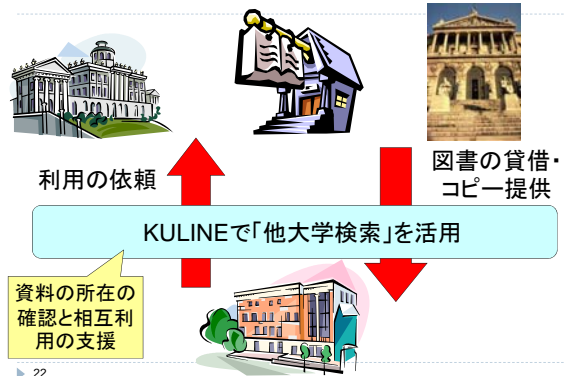
書架上の分類の役割

- ▶ 館内を歩けば、どのような資料があるか把握できる
- ▶ 館の特性に応じ、資料の特色が出る
- ▶ **図書館内徘徊を推奨!**
- ▶ 徘徊した上で、自分が常に帰るホームライブラリーを見つける!



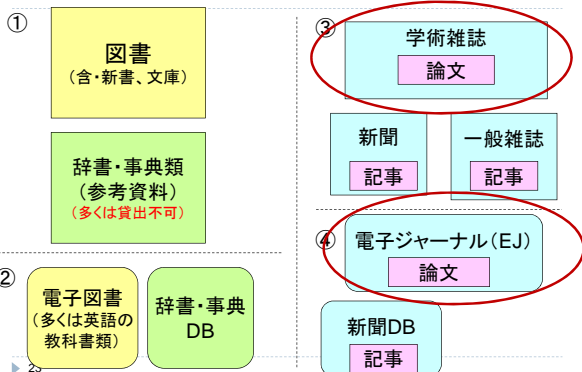
▶ 21

相互利用による、図書館活用の向上



▶ 22

大学図書館での主な情報源の区分



▶ 23

雑誌

- ▶ 学術雑誌は一般の雑誌とは異なる!
 - ▶ 研究の成果を示す
 - ▶ 査読(事前の内容チェック)
 - ▶ 「バックナンバー(過去の分)」の重要性
 - ▶ 「電子ジャーナル」への移行が進む
 - ▶ 多くは一般書店では入手できない



▶ 24

学術雑誌の中の論文の重要性

- ▶ 図書と比べ、最新の研究成果が論文として現れる
- ▶ 引用されることの多い論文が重要とされる
- ▶ **雑誌の中の論文をいかに探し出すか、が大事なスキル**



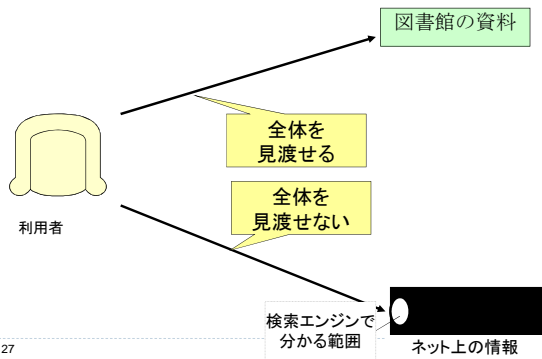
▶ 25

電子ジャーナル (EJ) ・ データベース (DB)

- ▶ 「商品」として大学が契約
 - ▶ 提供・販売する会社が内容に責任をもつ
 - 信頼できる他人=専門家によって、知識体系が構築されている
 - インターネット上の無料の情報源との大きな違い
- ▶ 京大では「ECS-ID」の取得がこれらの利用に必要
 - ▶ 「リモートアクセス」の設定により、学外からの利用も可能

▶ 26

ネット上の情報は「目に見えない」



▶ 27

図書館資料とDB・EJへの入り口 KULINE: <http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



▶ 28

図書館機構ウェブサイト (<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>)



まとめ

- ▶ 大学での学習・研究のポイントは専門分野における知識体系を把握した上で、「**適切な領域・トピック**」「**適切な情報源**」を選択すること。
- ▶ これらを助けるための図書館の機能
 - ▶ 分類
 - ▶ 参考資料
 - ▶ 多様な資料・情報源・DBなど

▶ 30

授業を進める上での注意点など

31

「情報探索入門」の授業用ページ (図書館機構トップページの右下より)



参考書『大学生と「情報の活用」』



学内からのみ、ネット上での閲覧が可能
('情報探索入門'授業用ページより)

▶ 33

関係のある文献 (1)



- ▶ 小山田耕二・日置尋久・古賀崇・持元江津子. 研究ベース学習. コロナ社, 2011.
- ▶ 情報探索法、論文執筆法、データの収集・分析法など

▶ 34

関係のある文献(2)



- ▶ 井上真琴. 図書館に訊け!. 筑摩書房, 2004. (ちくま新書 486)
- ▶ 大学図書館を中心に、図書館の活用法を分かりやすく解説

▶ 35

<その他の連絡事項>

- ▶ 期限内に履修登録を!
- ▶ 授業回によって教室の変更あり!
- ▶ 演習の際には、ECS-IDが必須!
- ▶ 授業webページ(+Twitter)を始めました
- ▶ 今回の授業アンケートを回収します

▶ 36